

	妊婦・乳幼児とその保護者	小・中学生とその保護者	高校生とその保護者	20~30歳代	40~50歳代	60歳以上
世代ごとの目指す姿	愛情いっぱい 基本的な生活習慣の基礎を身につけよう	自分を大切に 基本的な生活習慣を学び実践しよう	自分も友人も家族も大切に 自立に向けた健康的な生活を送る力を身につけよう	楽しい人生のために 健康に関して実践力を身につけよう (早く気づいて20歳代)	お互いを大切に 体と心の状態をチェックし、健康的な生活を習慣づけよう (まだまだ間に合う40、50歳代)	家族・仲間、地域と共に 健康習慣を維持し、次世代へ生活習慣の基礎を伝えよう
食べよう部会	“早寝早起き朝ごはん”を身につけよう 【朝食摂取率】 小・中学校でやや減少 8割程度	朝ごはんを食べることを実践しよう		主食・主菜・副菜のそろった食事をしよう 【朝食摂取率】全世代の中で男性は20歳代男性、女性は30歳代が最も低い。		
歯健康口の部会	“食”に关心を持ち、家族で食事を楽しもう 歯科検診を定期的に受け、虫歯にならないための生活習慣を身につけよう 妊婦の歯科検診受診率が減少 (47.0%が34.7%に減少)	家族や仲間と共に食し、食事の楽しみや大切さを親から子へと伝えよう		家族や仲間と一緒に食事を楽しもう 【共食】ほぼすべての世代で減少 特に、30歳代男性が大幅に減少	歯と口の健康に关心を持ち、歯科検診を定期的に受けよう 【歯科検診受診率】20歳代男女、30~40歳代男性で減少 歯科検診を受けている人 約半数のみで 横ばい	
動こう部会	家族や友人と楽しく体を動かそう 			生活の中で意識して体を動かそう 1日30分、軽く汗をかく運動を、週に2回は取り入れよう		【運動習慣がある人】 男性はほぼすべての世代で減少 女性は50歳代で減少
守ろう部会	自分の体を知り、健康について関心を持とう 			自分の健康に关心を持ち、健診を受けよう 【健診受診率】健診の機会が減る20歳代、30歳代や60歳代で減少 市がん検診受診率(県内19市町中) 胃がん17位、肺がん18位、大腸がん19位	定期的にケンシンを受けて、生活を改善しよう 家族や友人にケンシンの大切さを伝えよう	
喫煙部会	子どもをたばこの害から守ろう 乳幼児期の親の喫煙率が高い 父親:4~5割、母親:約1割	たばこの害について学び、喫煙の誘いを断わる方法を身につけよう たばこの害を知っている小学生 やや減少 将来たばこを吸いたいと思う小学生 1割程度いる		たばこを吸わないようにしよう 【喫煙率】若い世代ほど高い 20歳~30歳代男性 4~5割 女性 1~2割 	禁煙をしよう 周りの人にタバコの害や禁煙の大切さを伝えよう	
楽しもう部会	子どもの声に耳を傾けよう 困った時は身近な大人に相談しよう 自分の心の状態を知ろう 【困った時の相談場所を知っている母親】 乳児の母親は減少 【主体的に育児に関わっていると思う父親】 3歳児の親「叩く」1割弱 「怒鳴る」3割 乳児の父親で減少	言葉で愛情を伝えよう 相談できる人や場所を持つ 【感情的に叩く、怒鳴ると答えた母親の割合】 乳児の親で年齢が上がるにつれ、増加 【主体的に育児に関わっていると思う父親】 3歳児の親「叩く」1割弱 「怒鳴る」3割 乳児の父親で減少		自分にあったストレス対応方法をみつけよう 【自分なりのストレス解消方法を持っている人】 20~30歳代男性、40歳代女性は減少 全世代で30~40歳代女性が低く 6割	悩みを抱えている人に“気づき” “声かけ”をしよう 【睡眠による休養が十分に取れている人】 40~50歳代で減少し、約5割	日頃から周りの人とコミュニケーションをとろう 【防府市の自殺者】 60歳以上の高齢世代が半数を占める 相談できる窓口を知っている人は約3割以下
	つながり	あいさつをしよう	声をかけあおう			世代を超えて交流しよう